

果実販売動向

販売課 田村 慎平



平素からJA相馬村フルーツ
ーションをご利用いただき誠に
ありがとうございます。1月の果
実販売動向をお伝えします。

ミカンについては各地の市場で
1月中に九州・和歌山など西国か
ら静岡県への産地の切り替わりが
進みました。6年産のカムシ被
害等による収穫量の少なさは全国
的な傾向となっており、産地が切
り替わった後も市場への入荷量は
少ない状況が続きました。終盤に
向けて売り場は縮小傾向となっ
ているものの、他中・晩かん類も少
ないことから価格は高値基調とな
りました。

イチゴについては出荷が遅れて
いた九州・関東産がピークとなり、
年末の贈答時期からは価格は落ち
着いたものの、1月中は各産地で
寒波が到来し着色が進まなかった
ため想定よりも流通量は増えま
せんでした。5年産と比べて高値での
販売は続いたものの、月末には引き
合いも弱まっていき、価格は徐々
に下げ基調となっていきました。
リンゴについては昨年末は各産

地で台湾向けの出荷がピークだっ
たこともあり、国内市場への流通
は限定的なものとなりました。年
明けからは若干増加したものの、
流通量は少ない状況が続いていま
す。そのような中でも売価高によ
り末端での消費が停滞しており、
市場では流通在庫の整理が進まず
荷動きが鈍い状況となりました。
サンふじに関しては荷動きの鈍さ
を受けて価格は下げ基調での販売
となりましたが、ジョナ・王林に
関しては総体量の少なさから一定
の引き合いがあり、安定した販売
となりました。

輸出に関しては、春節が昨年よ
りも早まっているため、台湾・ベ
トナム向けの出荷は12月がピーク
となりました。当農協でもサンふ
じ・有袋ふじ・金星・世界一・む
つが12月末から1月初めで順調に
出荷され、1月15日時点での台湾
への出荷量は、前年同時期と比べ
て150%となりました。

今後の展開ですが、ミカンにつ
いては1月で最終盤を迎えて中・
晩かん類へと切り替わっていきま

す。かんきつ類は主力の和歌山県
産が昨年夏に高温の影響を受けた
ため着果不良や着色不良がみられ
ており、5年産を大きく下回る出
荷予想となっています。そのため
総体量の少なさによる高値基調が
続く見通しです。

イチゴについては産地の気温が
不安定で、それにより入荷量も不
安定になる見通しです。ただし1
月中に価格が下がっていったこと
により再度売り場を展開して企画
を組む動きもみられており、荷動
きの回復が見込まれます。

リンゴについては下位等級品を
中心に入荷量は増加していく見込
みですが、末端売価の高さによる
荷動きの緩慢さは続く見通しで、
価格は引き続き弱含みでの展開が
予想されます。ただし時期が進む
につれて競合品目は少なくなっ
ていき、徐々にリンゴの売り場や企
画は増えていくことと思われます。
本年は全国的な物価高の中、単価
の高い品物はリンゴに限らず末端
での消費は鈍い状況となっていま
す。そのため例年以上に品質の低
下には注意が必要となっており、
市場の動向を逐一注視しながら適
切なタイミングでの有利販売に努
めてまいります。

全農あおもりデータ（1／31累計）

品 種	サンつがる	早生ふじ	ト キ	きおう	王 林	シナゴールド	サンジョナ	サンふじ	その他	合計
単 価 (円)	2,975	4,196	3,459	3,240	4,364	4,420	4,663	4,837	4,262	4,052
前 年 比 (%)	90	96	94	104	106	118	110	120	105	105
販売数量 (箱)	738,116	493,247	201,444	116,370	181,520	8,564	126,994	1,257,292	618,463	3,742,038
前 年 比 (%)	120	94	113	76	90	251	106	90	101	100

※10kgダンボール1箱当たりの数値となります